

《記入例》退職・休職等により普通徴収に切り替える場合

下記記入例は、10月に退職する給与取得者の未徴収税額を、11月分から普通徴収に変更する場合。

(ア) 年税額 [6月～5月分] 120,000円 (イ) 徴収済額 [6月～10月分] 50,000円 (ウ) 未徴収税額 [11月分以降] 70,000円

給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書		※必要枚数に応じてコピー又は伊勢市ホームページからダウンロードしてください。		個人番号(マイナンバー)又は法人番号 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	
(宛先) 伊勢市長 令和5年9月1日提出		〒516-0037 三重県伊勢市岩淵1丁目○番△号		特別徴収義務者 指定番号 0123456789	
(給与支払者) 特別徴収者 フリガナ 伊勢 一郎 氏名又は名称 株式会社 伊勢市		フリガナ イセ イチロウ 氏名 伊勢 一郎 1月1日現在の住所 伊勢市小俣町元町○○番地		所属 人事課 給与係 氏名 二見 二郎 電話 0596-21-**** 内線()	
給与所得者 フリガナ 伊セ イチロウ 氏名 伊勢 一郎 生年月日 元号 3 1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成 50 年 5 月 5 日 個人番号(マイナンバー) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		現住所 津市広明町△△番地		※市記入欄 宛名番号	
↓現在、行っている特別徴収の徴収方法を変更する場合はチェックしてください。 ↓現在、特別徴収を行っている年度を記入してください。					
<input checked="" type="checkbox"/> 現在、特別徴収を行っている令和 <input type="text" value="5"/> 年度分(6月～5月)の市県民税の徴収方法を下記のとおり変更します。					
(ア) 特別徴収税額(年税額) 120,000円		(イ) 徴収済額(納付済額) 6月分から10月分まで 50,000円 ※納入書に記載の「月分」を記入		(ウ) 未徴収税額[(ア)-(イ)] 11月分から5月分まで 70,000円 ※納入書に記載の「月分」を記入	
異動年月日 令和5年10月31日					
1. <input checked="" type="checkbox"/> 退職・休職・長期欠勤 (↑いずれかに○) → <input type="checkbox"/> 一括徴収 → 一括徴収した税額(ウ)は、 <input type="text"/> 月分(<input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 納入期限分) で納入します。 <input checked="" type="checkbox"/> 普通徴収(本人納付)					
2. <input type="checkbox"/> 転勤 → 特別徴収継続 ※この場合の「転勤」とは、関連事業所との間で行われる勤務地の変更を伴うものをいいます。関連事業所ではない事業所への転勤は該当しません。 現年度の徴収区分(特別徴収)を新年度(特別徴収)に変更する場合は、 <input type="checkbox"/> 新規 異動事由をチェックしてください。					
(ア) 特別徴収税額の通知書の「特別徴収税額」欄の金額を記入してください。 (イ) (ア)のうち、何月分から何月分まで、いくら徴収したかを記入してください。 (ウ) (ア)から(イ)を差し引いた金額を記入してください。					
3. <input type="checkbox"/> 死亡 → 普通徴収 4. <input type="checkbox"/> その他 (a. 乙欄適用 b. 支払少額・不定期 c. 事業専従者のみ) → 普通徴収(本人納付)					
※a.「乙欄適用」とは、乙欄適用で他事業所で特別徴収されている場合。 ※b.「支払少額・不定期」とは、給与が支給されない月がある又は給与から税額が引ききれない月がある場合。 ※c.「事業専従者のみ」とは、全従業員が事業専従者のみの場合に限る。					
新年度 ↓ 新年度分として提出した令和 <input type="text"/> 年度分の給与支払報告書の徴収区分を「特別徴収」から「普通徴収」に変更します。					